

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
1	6-1-3	発酵のまち推進事業	市長公室
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	市内小学校味噌づくり事業については、穴粟ならではの取組であり、成果がでていることから高く評価できるが、その他の事業については、認知度が低く発酵文化のPR効果は弱いため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	「発酵のまち穴粟」の知名度向上に向け、推進協議会との連携を強化を図りたい。また、観光客増加による産業振興をめざすとともに、市民参加型の発酵食品コンテストの実施など発酵特産品の新商品開発も積極的に取り組まれない。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
2	2-1-6	営業部設置事業	市長公室
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	一般社団法人SDGs人的資本認定機構との協定締結については、今後の可能性が期待されるが、協定締結や興味・高評価をどのように実績につなげていくのか課題であり、継続的な関係人口の構築と市民への周知と理解の促進が望まれるため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	継続利用企業数の増加、成果の可視化(数値化)及び市民への情報発信の強化が課題として考えられるため、成果目標を定め計画的に取り組まれない。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
3	2-1-1	職員研修事業	総務部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	地域や県自治研修所等においても階層的の研修の実施・参加、さらに市外の講師におけるスキルアップ等の研修の取り組みも実施されているため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	合併後20年を迎え、職員の知識として、旧町における歴史・文化等の理解が重要課題と判断できることから従来の職員研修事業に追加することを検討されたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
4	2-1-6	地域生活交通対策事業	市民生活部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	一部の便において乗車率の低迷が続いており、運転手不足と乗車率の低下が課題であるが、通勤や通学等の市民の移動手段として確保されているため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	市民の日常生活を支える大切な交通手段であるため、これからも市民のニーズを聞きながら、小型バス路線と大型バス路線の路線やダイヤ等の検討をされたい。また、国の動向や他の自治体の取組を参考にしながら、さらなる移動手段の研究をされたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
5	2-1-9	協働のまちづくりの推進	市民生活部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	地域課題の発見や解決に向けて、主体的行動につながっている。 若者や女性などのメンバーも参加しやすい環境となった。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	伴走型支援については、身近な地域課題解決を望む人たちが集まり、活発な意見交換や主体的、自発的に活動ができるように努められたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
6	9-5-1	生涯学習推進協議会活動補助事業	市民生活部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	地域づくり事業においては一定の市民参画が見られるが、人権学習に関しては主体的な参加者が少ない。地区住民への周知や理解が十分でないように見受けられる。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	長く続く事業だからこそ単なる行事等に対する財源支援とならない様に、改めて事業目的を明確にし、必要とされる形に見直しされたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
7	4-2-2	ごみ収集運搬事業	市民生活部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	収集体制や収集頻度は既存体制を維持しつつ実施できたため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	歳出の中でも委託料は大きな割合を占めているため、効率的な収集体制の再編に向けて検討し住民の理解や合意を進めながら、引き続き財政負担の軽減に取り組まれない。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
8	3-1-1	ひきこもり対策推進事業	健康福祉部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	ひきこもり当事者及びその家族に寄り添う支援とアウトリーチが機能しており、安心できる居場所づくりと段階的な社会参加に実効性が見られるため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	必要に応じた実態把握と委託先の人員配置等について協議した上、アウトリーチ強化に資する人件費・活動費の増額、居場所拡充、サポーター養成の継続的支援に取り組まれない。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
9	3-1-3	高齢者通いの場づくり応援事業	健康福祉部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	通いの場の教室数は維持できており、国や県と比較して参加率に関しては高く評価できる。しかし、内容がいきいき百歳体操に留まり、プログラムや参加者が固定化していると見受けられるため。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	穴粟総合病院から理学療法士などの専門職を派遣されたい。 また、いきいき百歳体操とミニ講座に留まらず、趣味活動や高齢者の社会参加につながる通いの場づくりのさらなる充実を図られたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
10	-	国民健康保険診療所運営事業	健康福祉部

評価		評価に至った理由
A	十分評価できる	診察日、時間が増え、地域のニーズに応え評価できる。
B	評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		翌年度予算に対する意見
1	拡充する	引き続き市民のニーズに応え、地域に寄り添った医療を提供されたい。
2	このまま継続する	
3	改善し継続する	
4	縮小する	
5	廃止する	

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
11	5-1-3	鳥獣対策事業	産業部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	狩猟免許の取得補助、ワイヤーメッシュ柵設置などの実施により、鹿・猪等による獣害被害額において一定の成果は出ているため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充	一定の成果は出ているが、依然獣害被害があることから捕獲意欲の向上にむけて報奨金の増額や処分場の確保を検討されたい。また、猟師の高齢化も顕著であることから若手育成についても積極的に取り組まれたい。	
2	このまま継続		
3	改善して継続		
4	大幅な見直し		
5	廃止		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
12	5-1-3	新規就農支援事業	産業部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	担い手不足の解消及び耕作放棄地の削減に一定の効果があり、地域農業の活性化に寄与しているため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	認定要件の緩和など新規就農者の認定数増加に向けて検討されたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
13	6-1-3	しそく氷ノ山 SEA TO SUMMIT	産業部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	参加者が多く大会としては評価できるが、イベントの知名度及び市内参加者が少なかったため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	市内でのイベントPRや宿泊施設・飲食店等の積極的案内を行い、イベントを盛り上げる必要性がある。また、さらなる消費活動を促すイベント運営に取り組まれない。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
14	7-2-4	橋梁長寿命化事業	建設部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	老朽化した橋梁の従来の修繕や架替えから、予防的な修繕、計画的な架替えへの転換に向けて進められており、長寿命化計画を実施することで経費の均衡化及びトータルコストの削減に向けて進んでいるため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	橋梁点検2巡目の工事の計画的な実施及び3巡目が円滑に実施されるよう翌年度予算を確保されたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
15	資本的支出 建設改良費	水道老朽管更新事業	建設部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	昭和50年代に敷設された波賀地区の基幹送配水管は、経年劣化による破断の危険性が高かったが、更新工事が実施されたことにより安定供給が図られたため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	基幹となる重要な管路において、設置環境が悪く腐食が著しく進行している個所や緊急性の高い箇所を緊急対策として事業が行われるよう予算を確保されたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 宍粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
16	9-1-3	不登校児童生徒支援員配置事業	教育部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	支援員が配置されたことにより教職員の負担は軽減され、他児童生徒に関わる時間が増えたため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	学校における、不登校対策への支援は取り組まれている。 今後は、COCOLOプランやひょうご不登校対策プロジェクト「フリースクール等民間施設へ通う児童生徒への支援」を踏まえ、誰一人取り残されない学びの保障に向けた支援の拡充を図られたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
17	3-2-4 9-4-1	就学前施設DX推進事業	教育部
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	業務の効率化により保育準備の時間に余裕ができ、子どもと関わる時間が増える他、教材研究や職員間での振り返り、意見交換などの研修時間が増え、教育・保育の質の向上と職員の負担軽減につながったため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	保護者との対面の機会が減ることが考えられるので、保護者及び職員の意見聴取を図られたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		

令和6年度決算 穴粟市議会事業評価

番号		款一項目		事業名		部局	
18		収益的 収入及び支出		病院事業		総合病院	
評価				評価に至った理由			
A	十分評価できる			人件費などの高騰により、医業収益が悪化したが、在院日数の短縮や、病床利用率の向上、救急患者の積極的な受け入れにも努められているため。			
B	評価できる						
C	あまり評価できない						
D	全く評価できない						
今後の方向性				翌年度予算に対する意見			
1	拡充する			医師、特に常勤の整形外科医の確保に努められたい。また適正な人事や材料の管理に努め、急性期及び地域包括ケアシステムの基幹病院として役割を果たされたい。さらに市民の健康寿命を延ばす取り組みにも努められたい。			
2	このまま継続する						
3	改善し継続する						
4	縮小する						
5	廃止する						

令和6年度決算 穴栗市議会事業評価

番号	款一項目	事業名	部局
19	資本的支出 建設改良費	新病院整備事業	総合病院
評価		評価に至った理由	
A	十分評価できる	予算執行が計画通りに実施されたため。	
B	評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		翌年度予算に対する意見	
1	拡充する	診察や会計の待ち時間解消になるシステムの研究等、利用者の満足できる病院にするための努力を継続されたい。 また安全第一で事故のない工事となるよう進められたい。	
2	このまま継続する		
3	改善し継続する		
4	縮小する		
5	廃止する		